



令和6年9月6日(金)・19日(木)

介護相談員さんから…

天間荘では平成28年4月から介護相談員等派遣事業を受け入れています。市町村に登録された介護相談員が毎月2回来荘し、利用者の疑問や不満、不安を受けつけ、天間荘や行政に橋渡しをしてくれています。こうした介護相談員の活動報告(利用者の声や気づき)は、問題の改善や介護サービスの質の向上に活用されています。



【食事・嗜好品】

- 3階の秋田県出身の入所者の女性が、「ここのご飯はおいしいよ、お米の味は分かるからね」とおっしゃっていました。

【施設・環境】

- 2階の東側から、栗の木にたくさん実がついているのが見え、入所者の方が「秋だね」とおっしゃっていました。
- 部屋と部屋の間、天間荘新聞が飾ってあり、毎月の行事に楽しそうな笑顔の利用者の姿がありました。
- 窓から見える栗の実が実っていたので、栗の話で盛り上がりました。昔、栗ごはんを作ったけれど栗を剥くのが大変だった。とか、栗をゆでて、そのままスプーンですくって食べても美味しい。等の話が聞けました。

【医療・健康・リハビリ】

- ショートステイの女性の方が、秋らしい柄の七分袖の上着とグレーのズボンを履いていました。「今日の衣装もすてきですね」と声をかけると「出掛ける前に、今は何色の上着にしようか」と組み合わせを考えて、洋服選びをしているとのことでした。

【人間関係・プライバシー】

- 紅葉の写真なカレンダーを見た女性は、阿賀野川の近くに住んでいて、小さい頃は畑の手伝いをしていたと話してくれました。
- 話したいことがあると言った女性は、忘れてしまうと言いながら、一生懸命、言葉を思い出しながら話そうとしていました。

【アクティビティ】

- 園芸クラブの活動を見学させていただきました。4人の方が参加してオアシスの入った容器に花を生け、フラワーアレンジメントを作りました。初めての試みだったとのことですが、利用者の方々がとても喜んでくれたと職員の方もとても嬉しそうでした。作品はフロアに飾るそうです。

